

## 日本学生支援機構貸与奨学金 二次採用の申込について

この奨学金は、経済的理由により修学が困難な優れた学生に貸与されるものであり、貸与期間満了後は、返還の義務が生じます。借りすぎないように注意しましょう。

### 1 奨学金の種類等 《紫色の冊子「貸与奨学金案内」6～7ページ》

(1) 第一種【無利子】 家計の収入基準等の申込基準を満たす必要があります。

区分	種類	貸与月額	貸与始期	返還方法
大学院	修士	50,000円・88,000円	10月 (初回振込:12月) ※10～12月分を まとめて振込	① 定額返還方式 ② 所得連動型返還方式 ※②を選択する場合、保証制度は 機関保証を選択《「貸与奨学金案内」13～15ページ参考》
	博士	80,000円・122,000円		

(2) 第二種【有利子】 第一種より申込基準が緩やかです。

区分	貸与月額	貸与始期	返還方法
大学院	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円	10～3月の間で 希望する月	定額返還方式

### 2 奨学金返還の保証制度

奨学金の貸与を受けるにあたり、保証制度を選択する必要があります。人的保証か機関保証の いずれかを選択 してください。併用貸与を希望する場合は、第一種と第二種との間で異なる保証制度を選択することはできません。(ただし、所得連動返還方式を選択した場合は除きます。)

人的保証《「貸与奨学金案内」p19～21》	機関保証《「貸与奨学金案内」p17～18》
①連帯保証人(原則として父母)及び保証人(父母を除く65歳未満で4親等以内の親族のうち別生計の者)を選任する必要があります。必ず連帯保証人と保証人本人の承諾を得ておいてください。	①月々一定の保証料を支払うことで、保証機関が返還の保証をします。(保証料は毎月の奨学金から差引き) ②連帯保証人・保証人が選任できない場合でも、奨学金の申込ができます。 ③一種採用者で所得連動返還方式を希望する方は、機関保証を選択してください。

### 3 提出書類

「貸与奨学金案内」p24の「奨学金申込時に在学学校へ提出する書類」及び別紙「貸与奨学金申込書類チェック表」で確認してください。

## 4 申請スケジュール

申込みの流れ	期限
<p><b>1 「申込資格、選考基準等」に該当するか確認</b></p> <p>自身が申込資格や基準を満たしているかどうか、「貸与奨学金案内」 p 8～10 に沿って、確認してください。</p>	<p>9/30 (金) までに</p>
<p><b>2 申請書類を大学へ提出 《提出先：キャンパス教学課》</b></p> <p>申込資格、選考基準等の条件を満たしている場合は、「貸与奨学金案内」 p 24 の必要書類を準備し、別紙「貸与奨学金申込書類チェック表」で提出物の確認を行ってください。 窓口又は郵送により、教学課へ提出してください。</p>	<p>◆学内締切 10/7 (金) (締切厳守)</p>
<p><b>3 ユーザーID とパスワードを入手する</b></p> <p>申請書類を提出した方に、インターネットによる申込み（入力）に必要なユーザーID とパスワードを交付します。</p>	<p>—</p>
<p><b>4 専用サイト（スカラネット）に入力する</b></p> <p>「貸与奨学金案内」 p 29・30 を参照し、申込み（入力）を行ってください。入力が完了し「送信」ボタンを押した後に画面に表示される受付番号は、マイナンバー提出書に記入する必要があるので必ず控えておいてください。</p> <p>※申請書類を提出していても、スカラネットでの入力がないと、申込完了とはならないので注意してください。</p>	<p>◆学内締切 10/23 (日) (締切厳守)</p>

※奨学金の初回交付は12月の予定ですが、経済事情により11月の初回交付を希望する方は、9月16日（金）までにキャンパス教学課まで申し出てください。その場合、申込期間が短くなるため、注意してください。

## 5 採用の決定

採用可否は、12月中旬を目安に、掲示板やポータルでお知らせします（審査状況等により、採用が1月になる場合があります。）。

採用後、採用者を対象に採用後の手続きに必要な書類等をお渡ししますので、期限までに必ず提出してください。なお、提出物を期限までに提出しない場合は、採用が取り消されますので注意してください。

## 6 その他

手続に関して不備があった場合、大学教学課から連絡することがあります。不在着信、又はメールがあった場合は、速やかに折り返しの連絡や教学課窓口に来る等、対応してください。